

強度行動障害に係るデータ分析結果について（概要）

1 目的

- 強度行動障害支援システムの検討を進めるため、市内の行動障害のある人^{*}の生活と支援の現状を把握するもの ※行動関連項目の合計点数が10点以上の方

2 調査項目の概要

基本情報等

◇ 対象者数及び点数

- ・対象者（10点以上）：864人
- ・最高点：21点（満点24点）で6人
- ・スコアの分布：10点～13点が各110人前後で全体の52%

◇ 年齢構成

- ・20代～50代までが724人（84%）、うち40代が224人（26%）で最多

◇ 性別

- ・男性567人（66%）、女性297人（34%）

◇ 障害支援区分

- ・区分6が642人（74%）で最多、区分5・6では829人（96%）

◇ 生活場所

- ・入所型の施設が486人（56%）で最多、自宅は269人（31%）

◇ 手帳所持者数（※重複あり）

- ・療育手帳：811人（94%）、うちA判定が701人（81%）
- ・身障手帳：198人（23%）、うち1級～4級が各50人前後（93%）
- ・精神手帳：30人（3%）、うち1級：18人、2級：12人

◇ 行動関連項目（12項目）において、特に支援等が必要なもの〔参考〕

【「できない」とされる項目】

- コミュニケーション：412人（48%）
- 説明の理解：864人（100%）⇒全ての者が「できない」

【「ほぼ毎日支援が必要」とされる項目】

- 大声・寄声を出す：707人（82%）
- 多動・行動停止：689人（80%）
- 不安定な行動（パニック等）：508人（59%）
- 自らを傷つける行為：485人（56%）
- 他人を傷つける行為：517人（60%）
- 不適切な行為（急に他人に抱きつく等）：651人（75%）
- 突発的な行動（突然走っていなくなる等）：509人（59%）

サービス利用状況等

◇ サービス種類毎の人数（※重複あり）

- ・「生活介護」の利用者が738人（85%）で最多
- 生活介護：常に介護を必要とする人に、昼間、入浴や排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供

◇ 施設入所者等 ※集計データの違いにより、上記の「生活場所」の人数と一致しない

- ・入所型の施設：485人（うち市外322人）
- ・グループホーム：105人（うち市外37人）

3 データの活用等について

- 強度行動障害支援システムの構築に向けた基礎データとして、北九州市発達障害者支援地域協議会「強度行動障害支援検討部会」で報告（市HP等で公表）
- また、上記データから把握できない内容等については、当事者・家族向けアンケート調査や相談支援機関等への個別ヒアリングを実施